



◆ 台風シーズン到来 日頃から災害に対する危機意識を高めましょう ◆

最近では、毎年のように全国各地で地震災害や豪雨災害などが発生しています。大雨や強風、洪水を想定した早めの備え・行動をとりましょう。



風水害に備えよう

雨が降り続いたりすると地盤が緩み土砂災害が発生しやすくなります。前兆現象を確認した場合は、早めに避難しましょう。

情報の収集

テレビ・ラジオ等の気象情報に注意し、防災行政無線や広報車の呼びかけに耳を傾けましょう。

非常備蓄品等の確保

直ちに避難できるよう非常備蓄品(最低3日分)や非常持出品を準備しておきましょう。

日頃からの対策

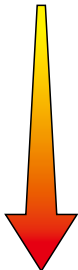
強風によって鉢植えや物干し竿などが飛散しないよう、家屋全体を点検・整理整頓しておきましょう。

早めの避難を

斜面のひび割れ、井戸や沢の水が濁る、樹木が傾くなどの前兆を確認したら、早めに避難しましょう。

■ 知っていますか? 避難のための情報

種類	内容
避難準備・高齢者等避難開始	今後の状況によっては避難勧告や避難指示(緊急)の発令を行うことが予想されるため、避難の準備を呼びかけるものです。また、要援護者(ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等)とその支援者は避難を開始しましょう。
避難勧告	災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まっています。速やかに避難場所へ避難をしましょう。
避難指示(緊急)	災害が発生するなど状況がさらに悪化し、人的被害の危険性が非常に高まっています。まだ避難していない人は、緊急に避難場所へ避難をしましょう。



※この順番で発令されるとは限りません。また、発令されていなくても、身の危険を感じる場合は避難を開始してください。